

態度が形になるとき — 安齊重男による日本の70年代美術 —

2017年10月28日(土) — 12月24日(日)

開館時間：午前10時—午後5時 ※金曜 土曜は午後8時まで(入場は閉館の30分前まで) 休館日：月曜日

国立国際美術館 地下2階展示室 (〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55)

主催：国立国際美術館 協賛：ダイキン工業現代美術振興財団

観覧料：一般430円(220円) 大学生130円(70円) ※()内は20名以上の団体料金

※高校生以下・18歳未満・65歳以上無料 ※心身に障がいのある方とその付添者1名無料(証明できるものを)ご提示願います

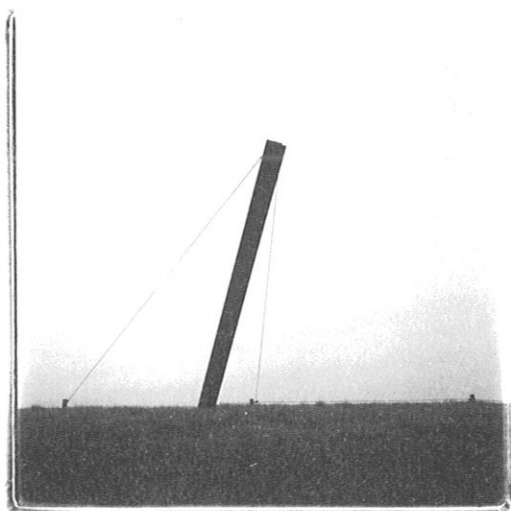
※夜間割引料金(対象時間：金曜・土曜の午後5時—午後8時) 一般250円 大学生70円 ※無料観覧日：11月3日(金・祝) 4日(土) 18日(土) 19日(日) 12月2日(土)

●同時開催……2017年10月28日(土) — 12月24日(日) 「福岡道雄 つくらない彫刻家」

●次回展……2018年1月21日(日) — 5月6日(日) 「開館40周年記念展 トラベラー…また見ぬ地を踏むために」



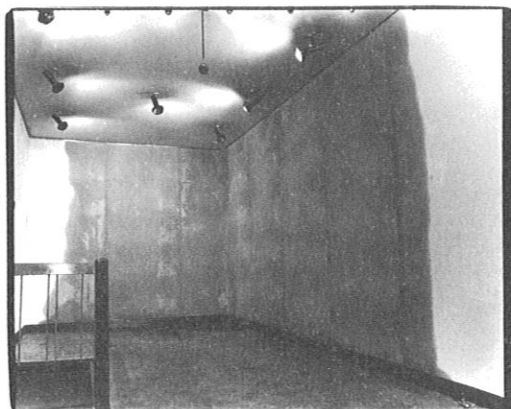
Murata Takashi, *Event 505590, Kadomatsu (Kam), Anzai, Yokocho,*



Horaguchi Noriyuki's work, Yokohama 1970-4,



Yoshi da Katsuro may '70 Tokyo Gallery,

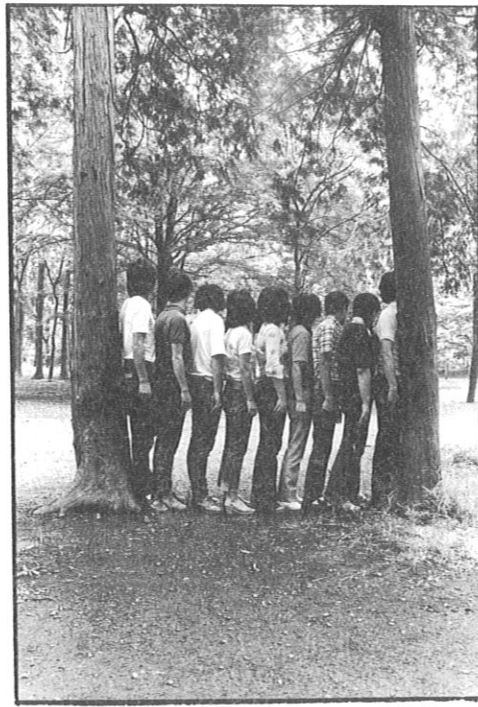


Kōji Enokura, Walker Gallery, Tokyo March '71,

When Attitude Becomes Form: Japanese Art of the 1970s through the Photography of Anzai Shigeo
 村田高詩 1970年2月23日 この国の国・神奈川 原口典之 1970年4月 この国の国・神奈川 吉田克朗 1970年5月 東京画廊・東京 榎倉康二 1971年3月11日 ヴァーカ一面展・東京(プリント:2015年) © ANZAI

1970年1月、安齊重男は同世代の作家たちが生み出す一過性の作品を35ミリカメラで本格的に記録に取り始めた。画廊に様々な材料を持ち込み、それらの材料をある状態に設置して作品化する一過性の表現は、展示が終了すると当然の如く消えて無に帰した。安齊は、後に「もの派」と呼ばれた作家たちの作品ばかりでなく、自らの嗅覚を信じて、そのような消えて無くなるタイプの作品を中心に撮影を始めたのである。安齊が撮影を本格化したのは、1970年5月から東京都美術館で開催された「第10回日本国際美術展」いわゆる「東京ビエンナーレ70」の準備に参画し、参加アーティストたちの助手のような役割を担いながら、記録写真を撮り始めた頃からである。

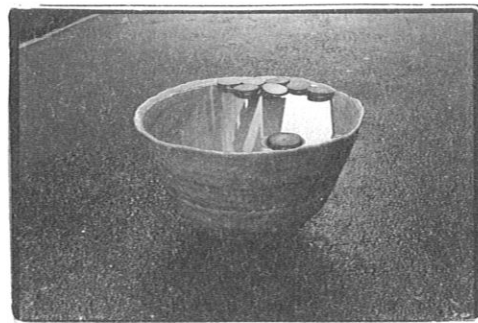
東京ビエンナーレを構成するに際し、「コミッシヨナー」を務めた美術評論家中原佑介が参照したと思われる



Group 261* Inagashima-park 1968-7



'72.8 Kyoto



Kaplanian Fuzuma Dec 8 '75 MUMU Gallery



Kōsei Hōki Video performance, c.c.c 7040, June '82

展覧会に、ハラルド・ゼーマンの企画によってスイス・ベルンで1969年に開催された「態度が形になるとき」作品―概念―過程―状況―情報―がある。新たな美術動向を積極的に紹介した同展覧会のタイトルは、後に70年代の現代美術を体現する鮮烈な用語となった。本展は、70年代の日本の現代美術を振り返り続けた安齊重男の行為を再検証する試みである。安齊の写真を丁寧に辿ることによって、戦後日本美術の変革期を再確認することになるだろう。さらに、当館のコレクションを中心に安齊が目撃した作家たちの作品を展示し、安齊のその行為を作品の側からも検証するものである。

グループ361 1973年7月 井の頭公園、東京 プレイ 1973年8月10日 京都市美術館、京都 ◎ The PLAY 小清水薫 1975年12月8日 真木画廊、東京 堀浩哉 1975年12月13日 現代文化センター、東京 ◎ HORI Kōsei, Courtesy The artist and Mizuma Art Gallery ◎ ANZAI

「関連イベント」

- 講演会「東京ビエンナーレ70―神話を越えて」……………11月3日(金・祝) 午後2時
講師…峯村敏明(美術評論家、多摩美術大学名誉教授)
- 会場…国立国際美術館 地下1階講堂
- 参加無料(先着130名、当日午前10時から整理券を配布します)
- 講演会「菅木志雄のアクティヴェイションについて」……………12月9日(土) 午後2時
講師…千葉成夫(美術評論家)
- 会場…国立国際美術館 地下1階講堂
- 参加無料(先着130名、当日午前10時から整理券を配布します)
- ギャラリートーク……………11月18日(土)・12月23日(土・祝) 各日とも午後2時
会場…国立国際美術館 地下2階展示室
- 参加無料(要観覧券、ただし11月18日(土)は不要)
- 当日午後1時30分から聴講用ワイヤレス受信機を貸し出します(先着90名)

国立国際美術館 THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA

お問い合わせ：06-6447-4680(代)
〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55
The National Museum of Art, Osaka
4-2-55 Nakanoshima, Kita-ku, Osaka 530-0005
<http://www.nmao.go.jp/>



アクセス ●京阪電車中之島線「渡辺橋駅」(2番出口)から南西へ徒歩約5分 ●地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」(3番出口)から西へ徒歩約10分 ●JR「大阪駅」, 阪急「梅田駅」から南西へ徒歩約20分 ●JR大阪環状線「福島駅」, 東西線「新福島駅」(2番出口)から南へ徒歩約10分 ●阪神電車「福島駅」(3番出口)から南へ徒歩約10分 ●地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」, 京阪電車「淀屋橋駅」(7番出口)から西へ徒歩約15分 ●市バス「大阪駅前」から、53号・75号系統で「田箕橋」下車、南西へ徒歩約3分
*専用駐車場はありません。ご来館は電車・バス等をご利用ください。
*心身に障りのある方で、車で来館される場合は、美術館北側の有料駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。